

## 台東区震災復興小学校6校の現況と活用検討について

学校名 (竣工日)	これまでの主な活用・貸付	保存活用する場合に 想定される主な課題	活用の方向性
①黒門小学校 (昭和5年7月)	・現役小学校	現在改修工事中(平成28年7月～平成31年3月) 「台東区公共施設保全計画(H28.3策定)」の対象施設として計画にあわせ区で対応する。	現役小学校であるため、適切に維持管理していく。
②東浅草小学校 (昭和3年5月)	・現役小学校	「台東区公共施設保全計画(H28.3策定)」の対象施設として計画にあわせ区で対応する。	現役小学校であるため、適切に維持管理していく。
③旧小島小学校 (昭和3年8月) 【復興小公園あり】	・東京藝術大学(H15～) ・早稲田大学プロジェクト研究所(H15～26) ・台東デザイナーズビレッジ(H16～) ・小島アートプラザ整備(H16～26) ・台東区中小企業振興センター(H27～) 等	現在、校舎3階の活用について検討中であり、活用用途が決まった段階で3階部分の整備を要する。	産業・芸術・文化・生涯学習の振興に資する活性化の拠点施設を目的に小島アートプラザとして整備した。平成26年度に小島アートプラザ事業が終了したことに伴い、活用の方向性について検討をすすめ、旧小島小学校を中小企業振興センターとして整備する方針となっている。なお、平成27年4月に台東区産業振興事業団を旧小島小学校に移転したところである。
④旧柳北小学校 (大正15年11月) 【復興小公園あり】	・リセ・コレージュフランス・ジャポネ(H15～24) ・台東保育園(H24～25) ・柳北保育室(H25～28) ・柳北スポーツプラザ(H15～) 等	現行の学校用途から用途を変更して活用する場合は、変更内容にあわせて消防設備等の整備が必要となる。	H28.9 から H31.3 まで蔵前小学校の仮移転用地として活用を図る。その後は、大規模用地の活用構想(H23策定)の活用方針に基づき、将来の行政需要へ対応するための用地確保の考え方も含め検討する。

学校名 (竣工日)	これまでの主な活用・貸付	保存活用する場合に 想定される主な課題	活用の方向性
⑤旧下谷小学校 (昭和 3 年 12 月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校法人上野学園(H17～19) (H23～27)</li> <li>・ 学校法人明昭学園(H19～21)</li> <li>・ 庁舎改修時の倉庫利用(H23～27) 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 耐震補強を要する</li> <li>・ 校舎老朽化への対策</li> </ul>	<p>東上野四・五丁目地区まちづくり検討委員会での検討を踏まえて策定した「東上野四・五丁目地区まちづくりガイドライン (H28.3 策定)」において、旧下谷小学校跡地街区について地区内の公共公益施設の再編、機能更新拡充のための用地として学校跡地の有効活用を図ることを整備イメージとして掲げている。</p>
⑥旧坂本小学校 (大正 15 年 11 月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東京藝術大学へ貸付(H19～22)</li> <li>・ GTS アートプロジェクト事務局 (H22～25)</li> <li>・ 地域団体による校庭利用 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 耐震補強を要する</li> <li>・ 校舎老朽化への対策</li> <li>・ 都道への張り出し部分返還</li> <li>・ 狭あい道路への対策</li> </ul>	<p>建物の老朽化や耐震等の課題を抱えているが、周辺 3 町会の避難所に指定されている。そのため、可能な限り早急に課題を解決し、安全な避難所の確保が望まれている。また、都道への張り出し部分の対応や狭あい道路の拡張による防災性の向上等を図ることが必要である。</p> <p>さらに、既存校舎を活用する場合、校舎全体を避難所として使用することや、災害時における速やかな避難所への転用が可能な用途であることが求められる。そのため、現在の建物形態で避難所機能を有したまま有効に活用することは困難である。</p> <p>区として活用案については、上記の他、提案募集結果や地域の意見等を踏まえ、「公募による大学誘致。なお、既存校舎は解体とする。」をたたき台に地域に提案している。加えて、地域の協議会においても並行して活用案を検討しており、年内を目途に地域の意見をまとめる予定である。</p>